

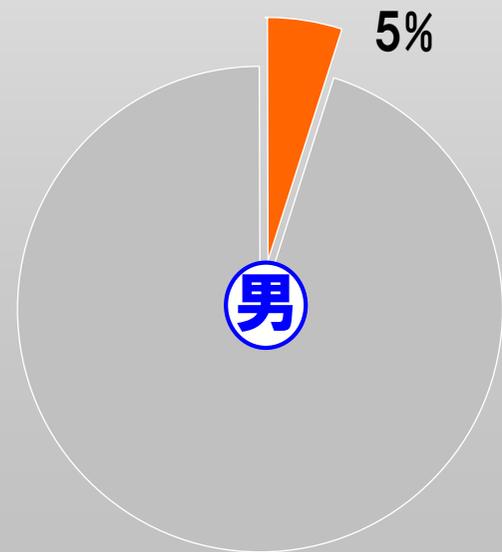
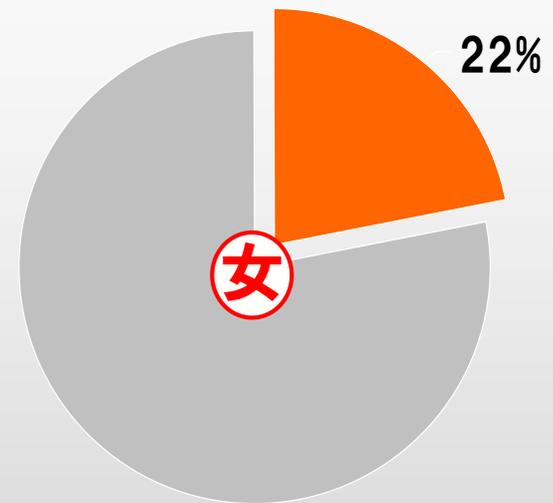
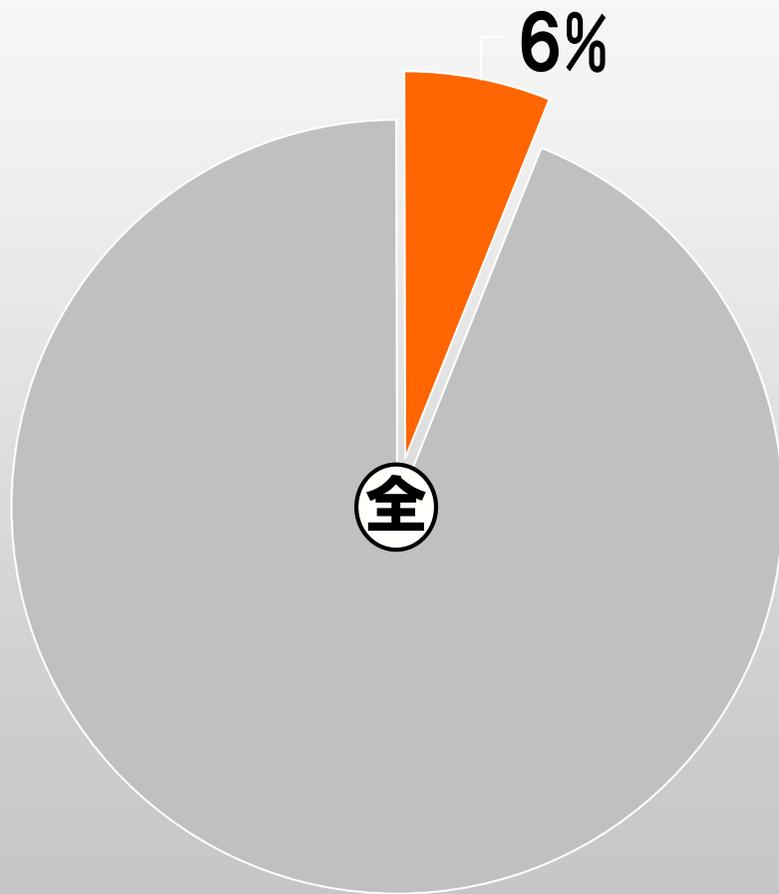
日本哲学会

男女共同参画アンケート
集計結果

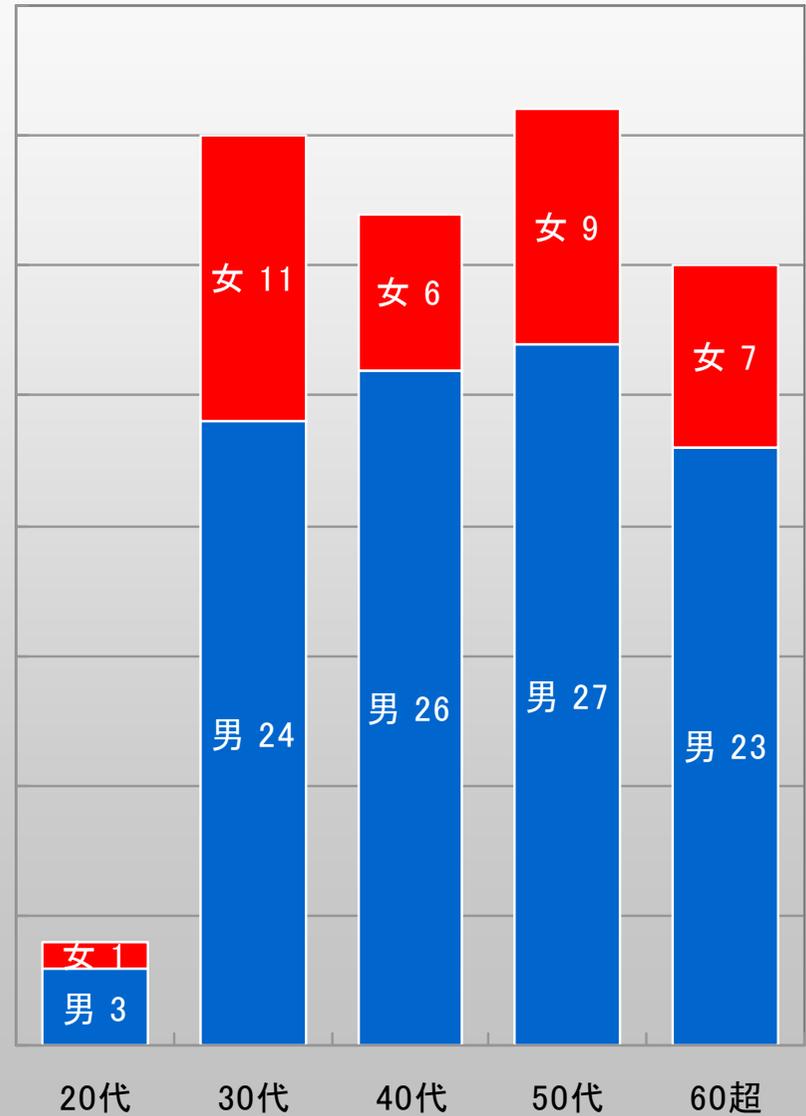
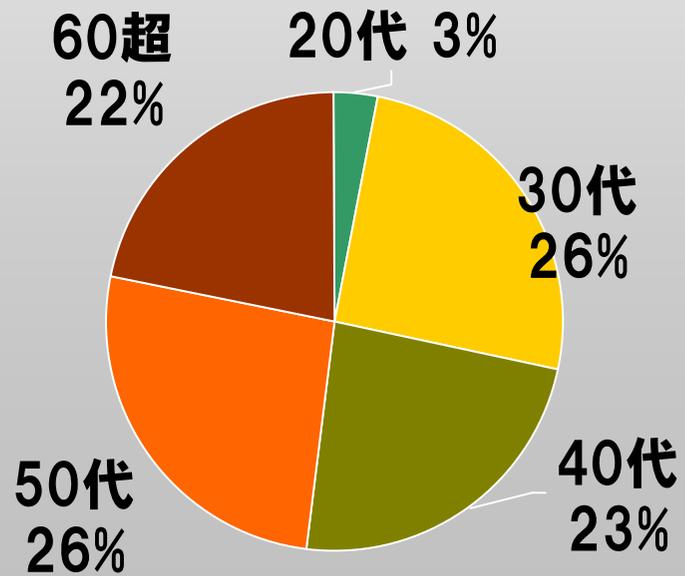
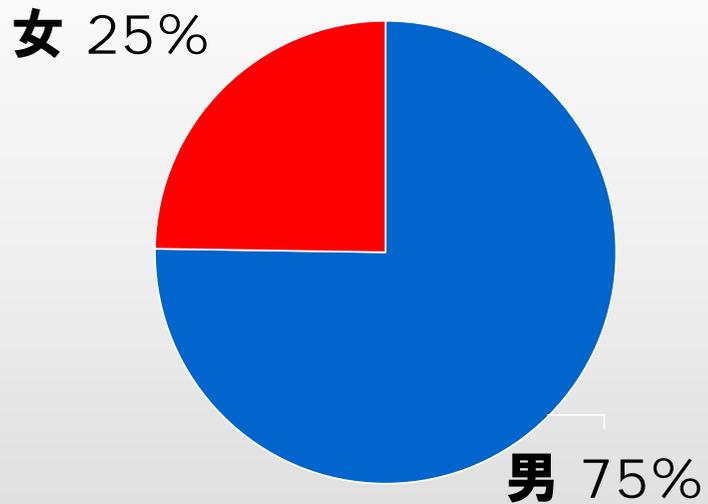
目次

- 回収率 / 回答者の統計
- グラフ化にあたって
- Q1.1 日本哲学会における女性会員の比率の低さは何を反映していると思いますか
- Q1.2 学会運営に関与する委員(編集委員を含む)に選出される女性比率の低さは何を反映していると思いますか
- Q1.3 女性委員の割合が増えるべきだと思いますか
- Q1.4 委員(編集委員を含む)の選出に際して「女性枠」を設ける必要があると思いますか
- Q1.5 「女性枠」を設ける場合、どの程度(何パーセント)まで増やすのが適切であると思いますか
- Q2.1 哲学教育において、ジェンダー・バイアス(性別・性差に由来する固定観念や偏見)が存在すると思いますか
- Q2.2 研究テーマの選択や研究指導の現場において、ジェンダー・バイアスが存在すると思いますか
- Q2.3 研究活動を遂行する中で、ジェンダー・バイアスに起因する不当な威圧や評価を受けた経験はありますか
- Q2.4 研究機関において男女の処遇の差があると思いますか
- Q3. 日本哲学会における男女共同参画推進のため今後必要と思われること

回収率



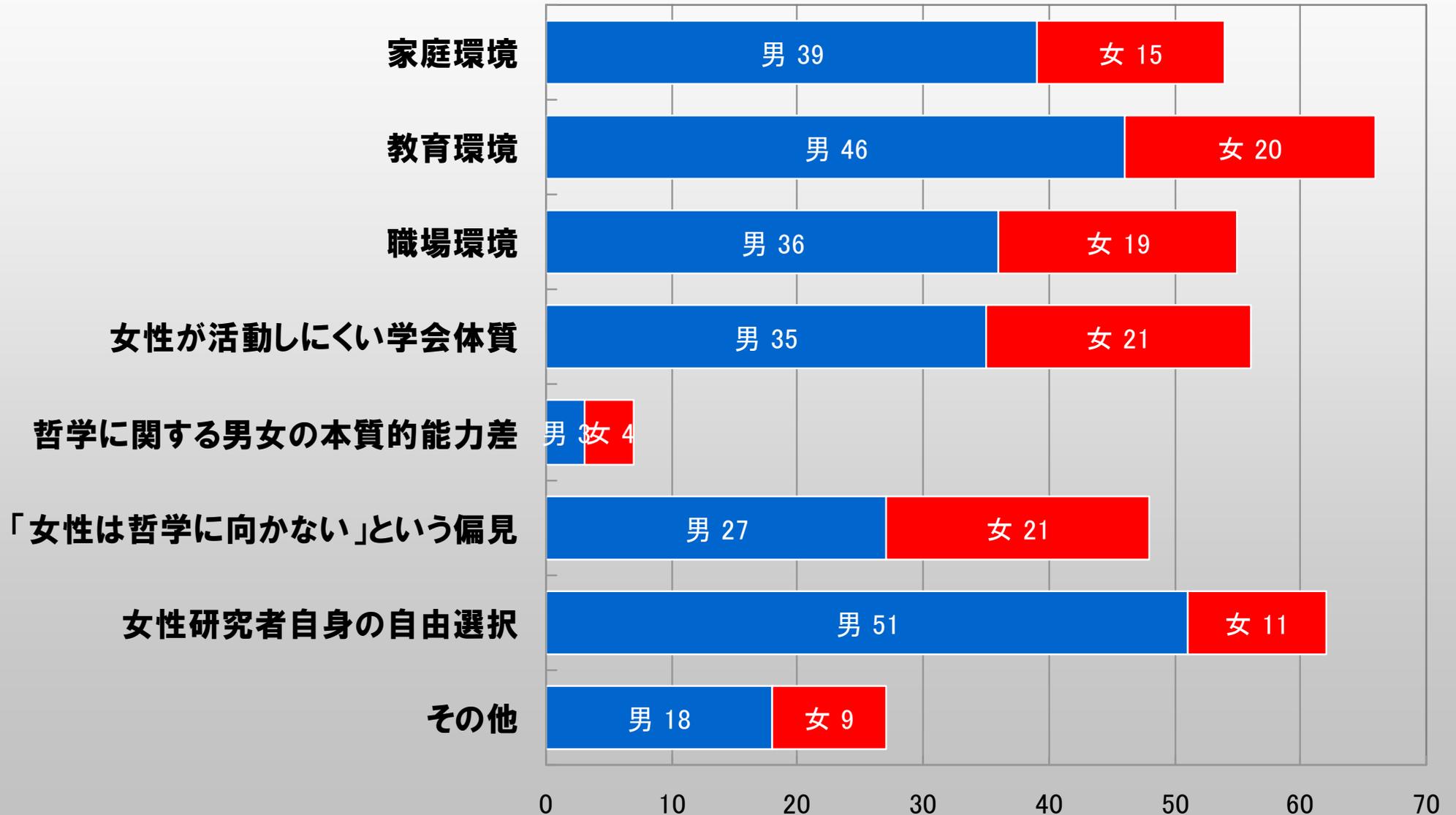
回答者の統計



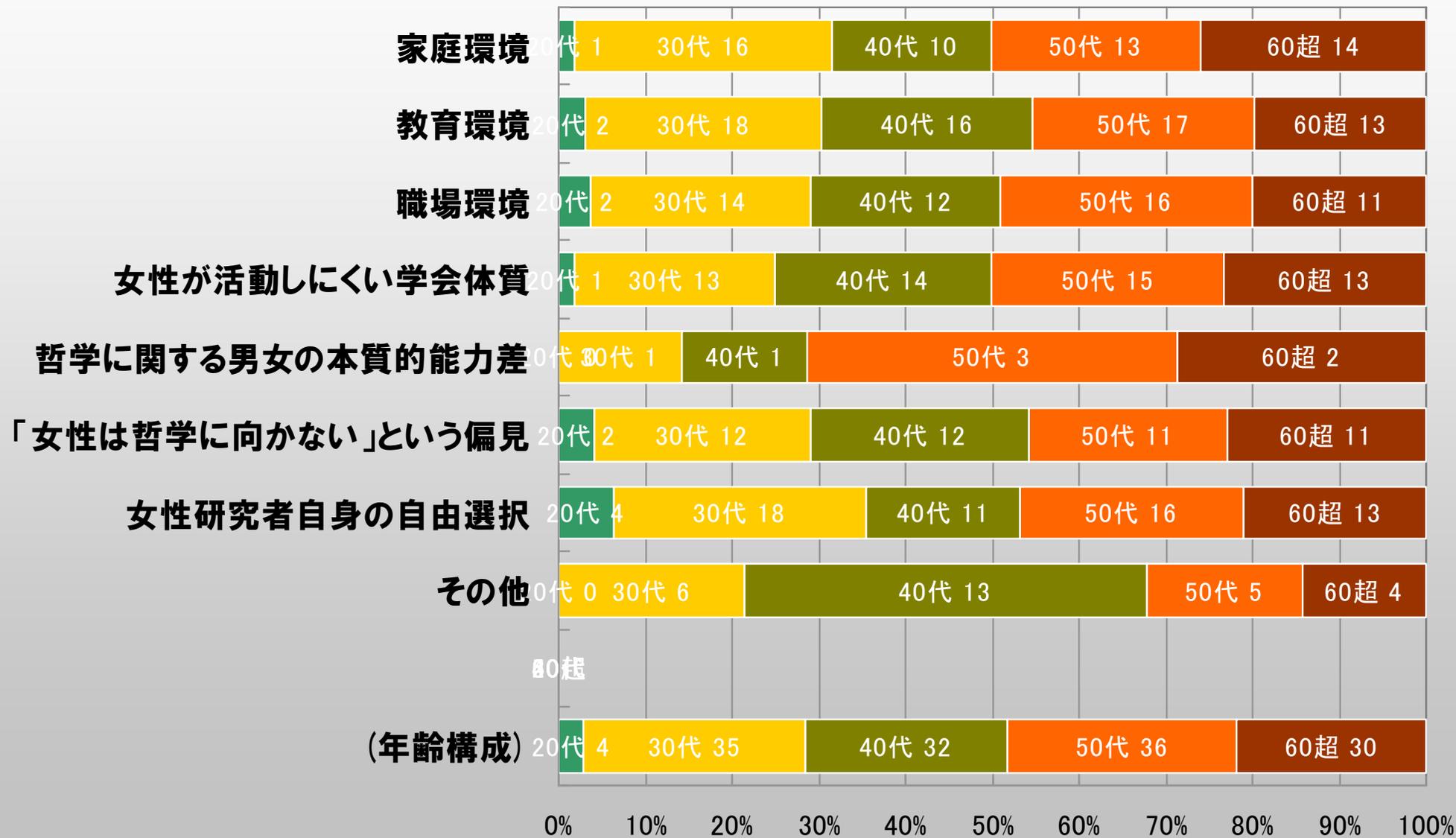
グラフ化にあたって

1. 単数選択でアンケートをとったものについては、男女別の円グラフと、年齢別100%積上げ棒グラフで表示します。
2. それ以外のものについては、回答別に、性別についての積上げ棒グラフ、年齢についての100%積上げ棒グラフで表示します。
3. 年齢別の統計はサンプル数が少ない部分があります。参考値として表示しました。(特に20代)

Q1.1 日本哲学会における女性会員の比率の低さは何を反映していると思いますか (複数選択可)



Q 日本哲学会における女性会員の比率の低さは 1.1 何を反映していると思いますか (複数選択可)



Q1.2 学会運営に関与する委員(編集委員を含む)に選出される女性比率の低さは何を反映していると思いますか(複数選択可)

選出に際して男性を優先する意識や慣習



女性の業績が不十分



男女の能力差

男 0

選出方法に関する制度的問題



性差を意識しない自然な選択

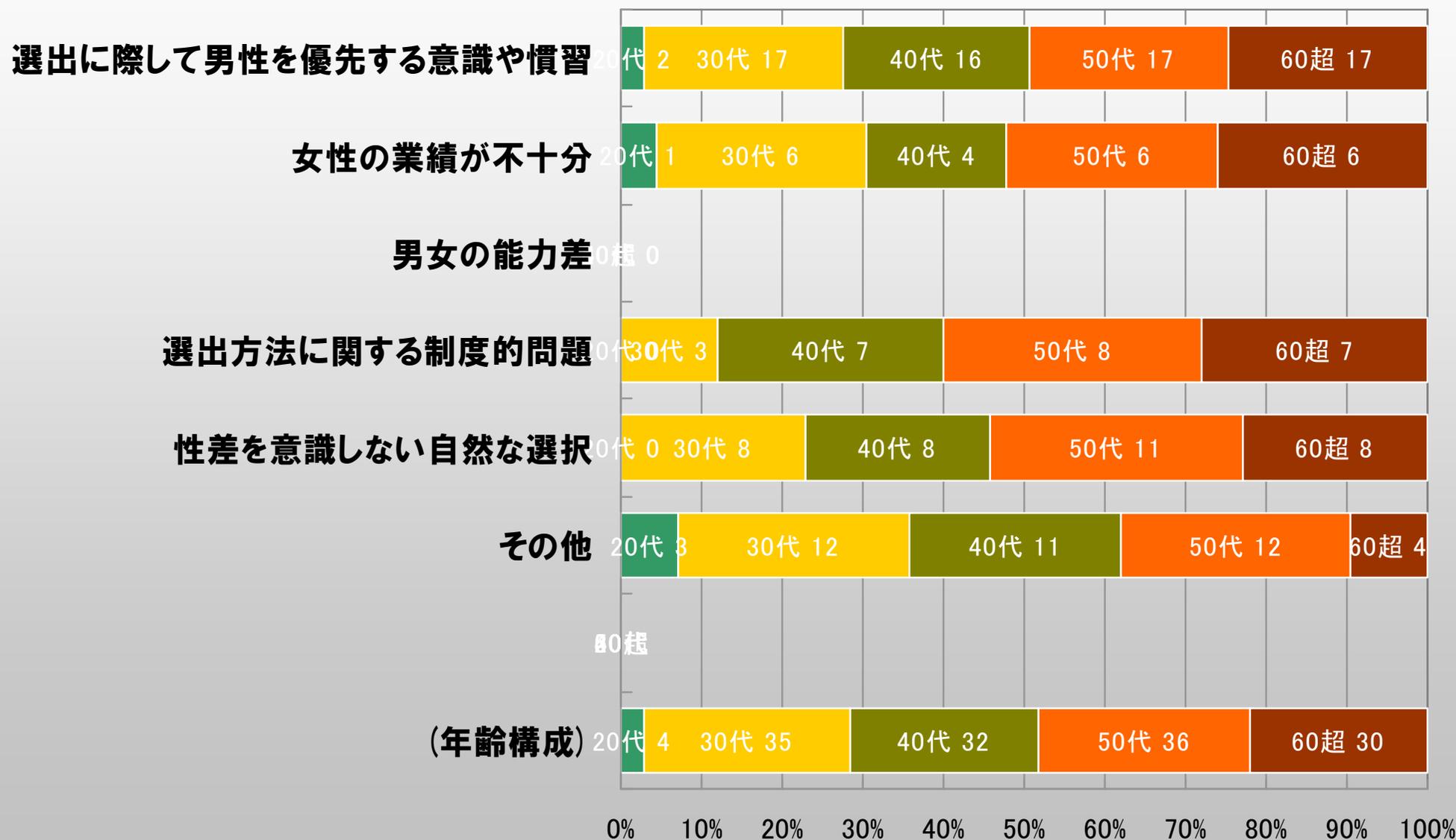


その他

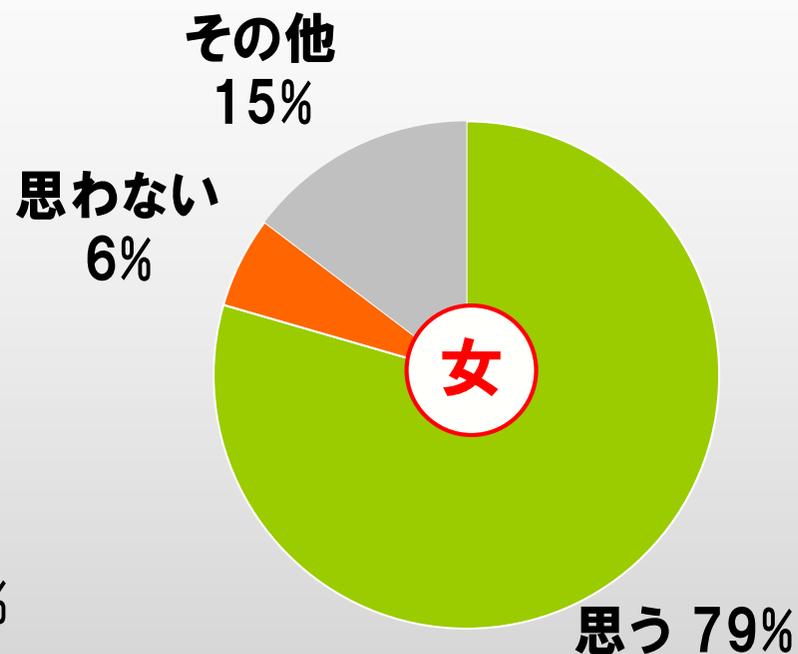
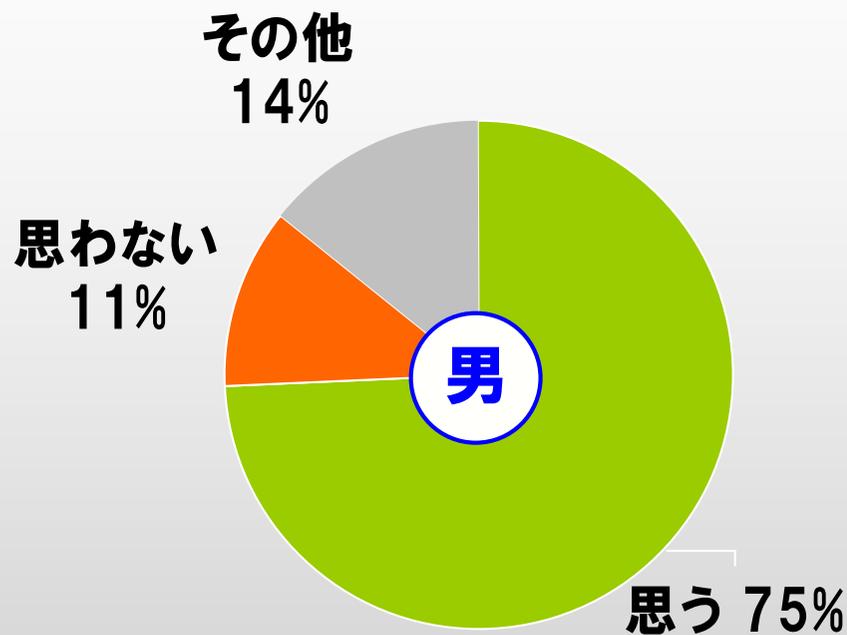


0 10 20 30 40 50 60 70 80

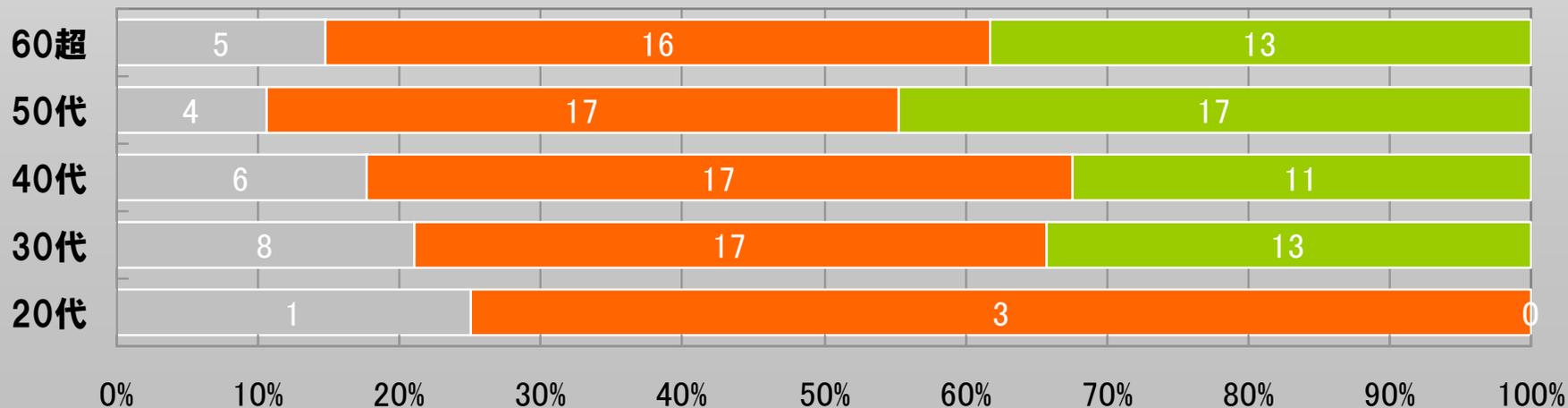
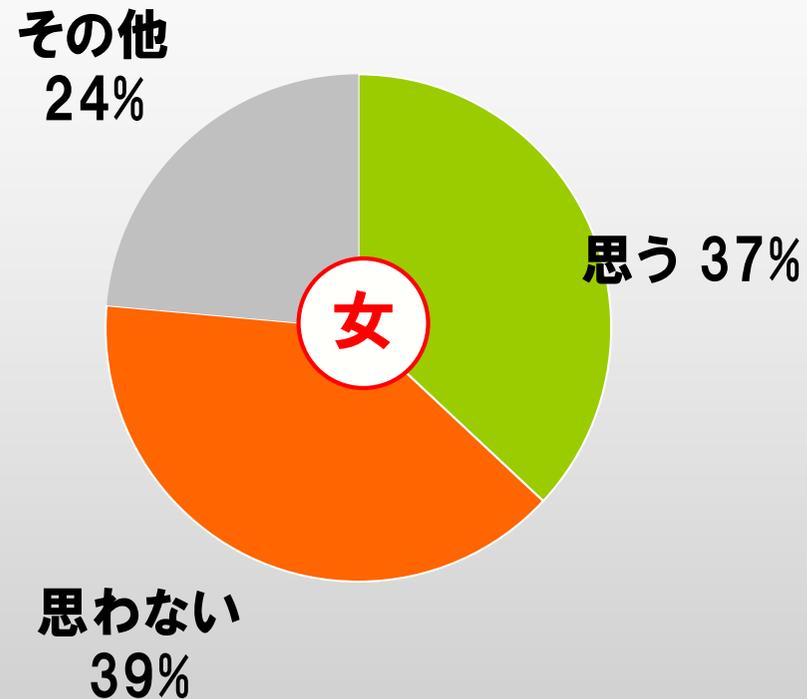
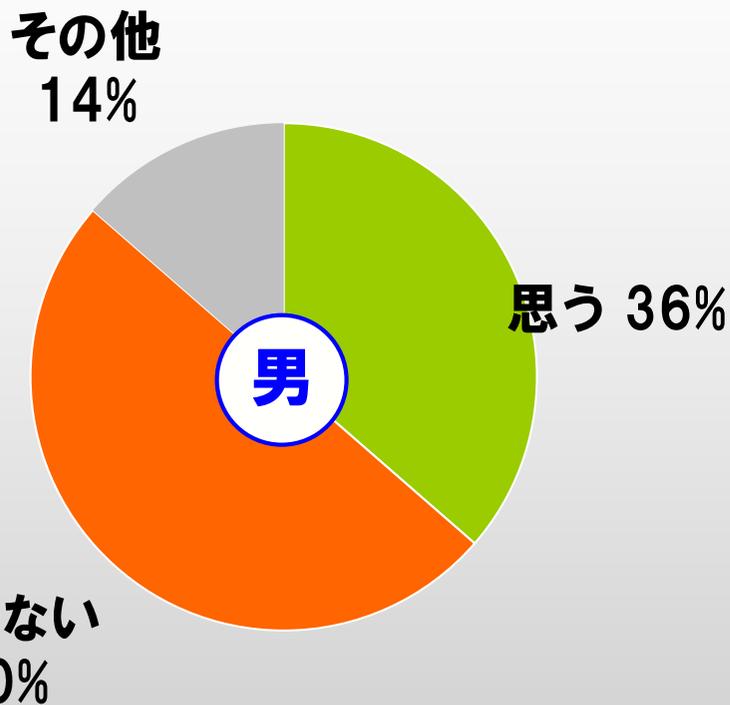
Q1.2 学会運営に関与する委員（編集委員を含む）に選出される女性比率の低さは何を反映していると思いますか（複数選択可）



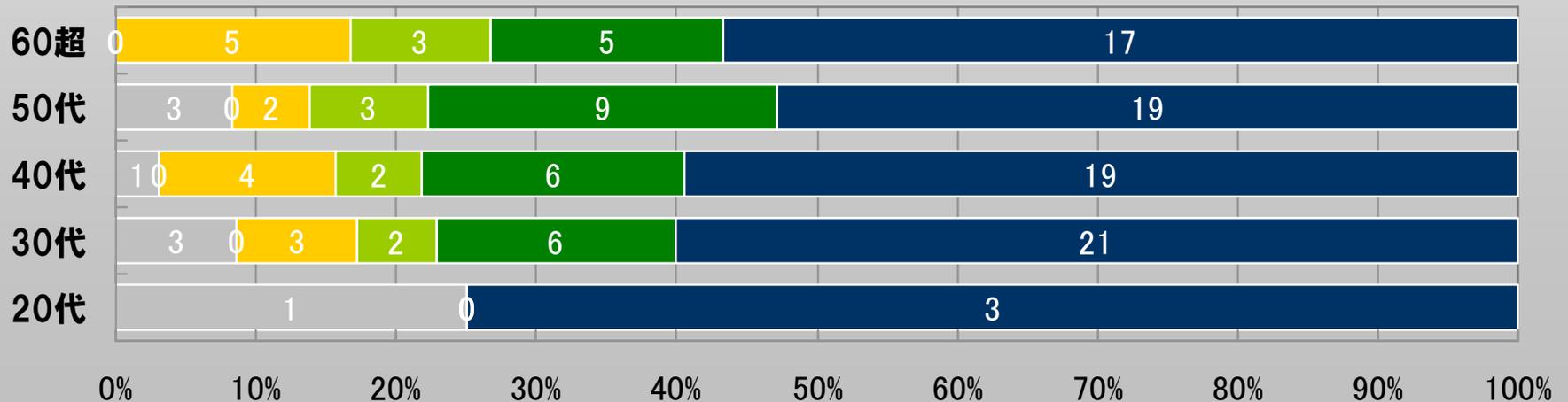
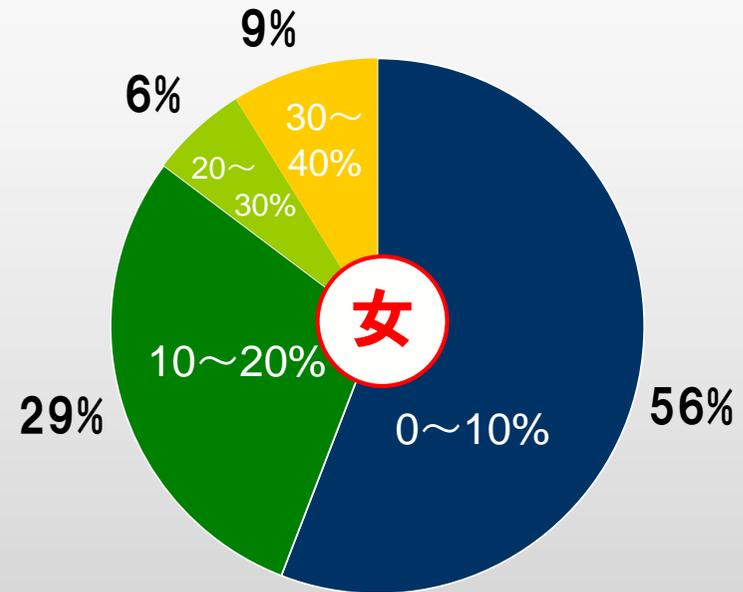
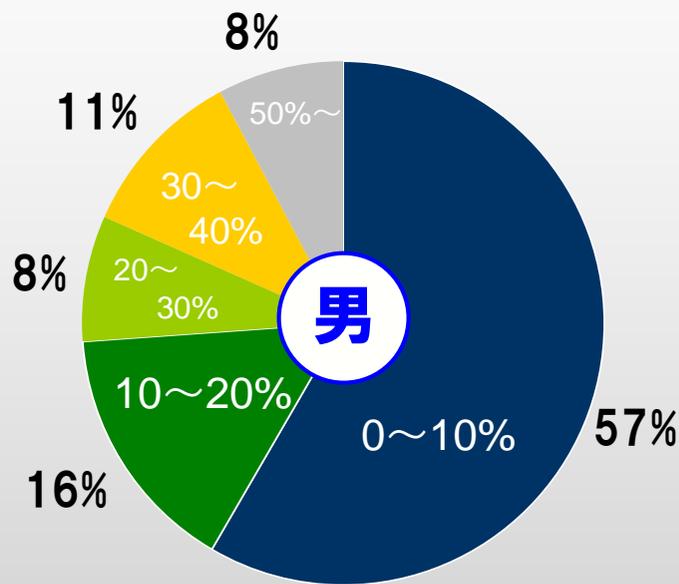
Q1.3 女性委員の割合が増えるべきだと思いますか



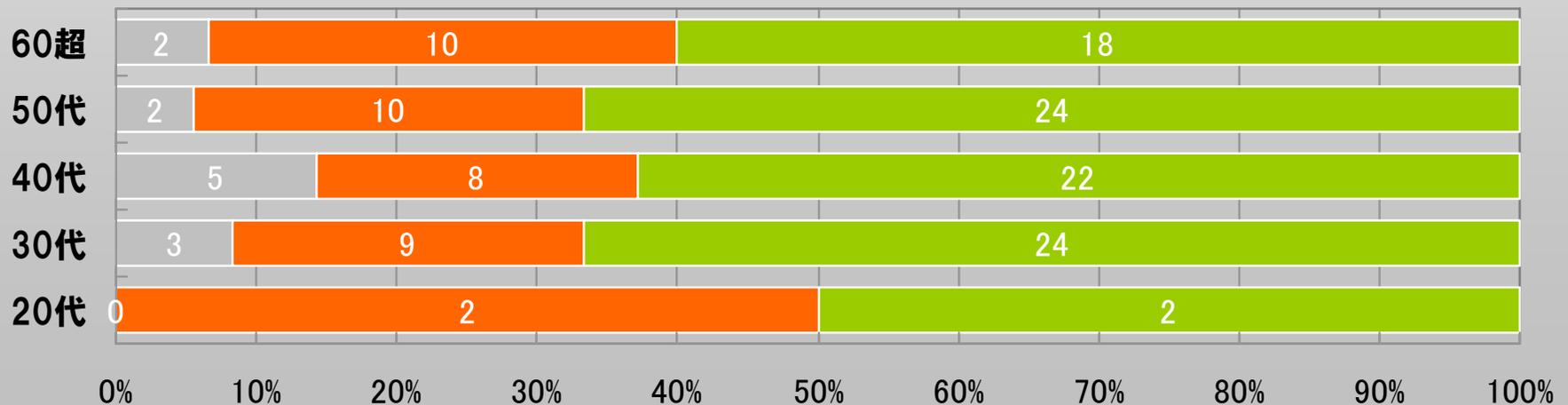
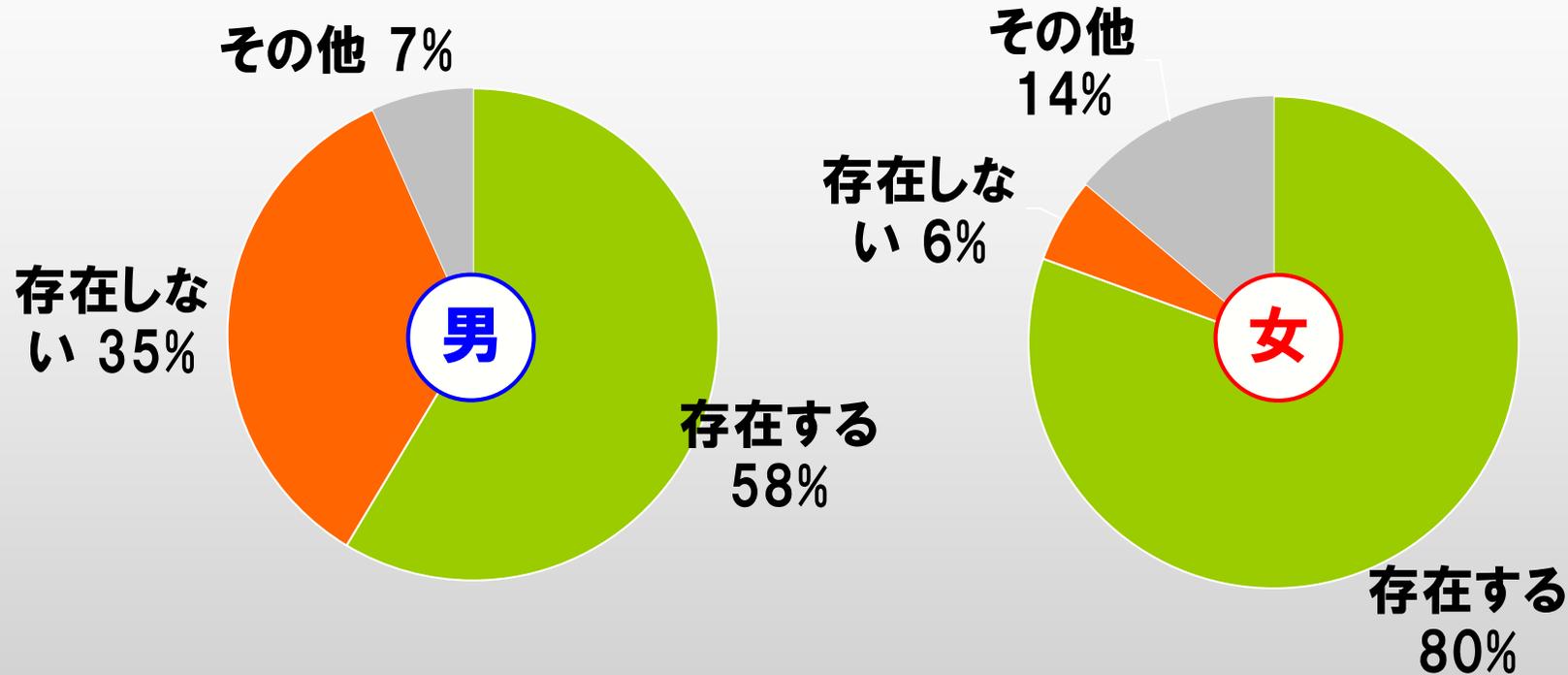
Q 1.4 委員（編集委員を含む）の選出に際して「女性枠」を設ける必要があると思いますか



Q1.5 「女性枠」を設ける場合、 どの程度まで増やすのが適切であると思いますか

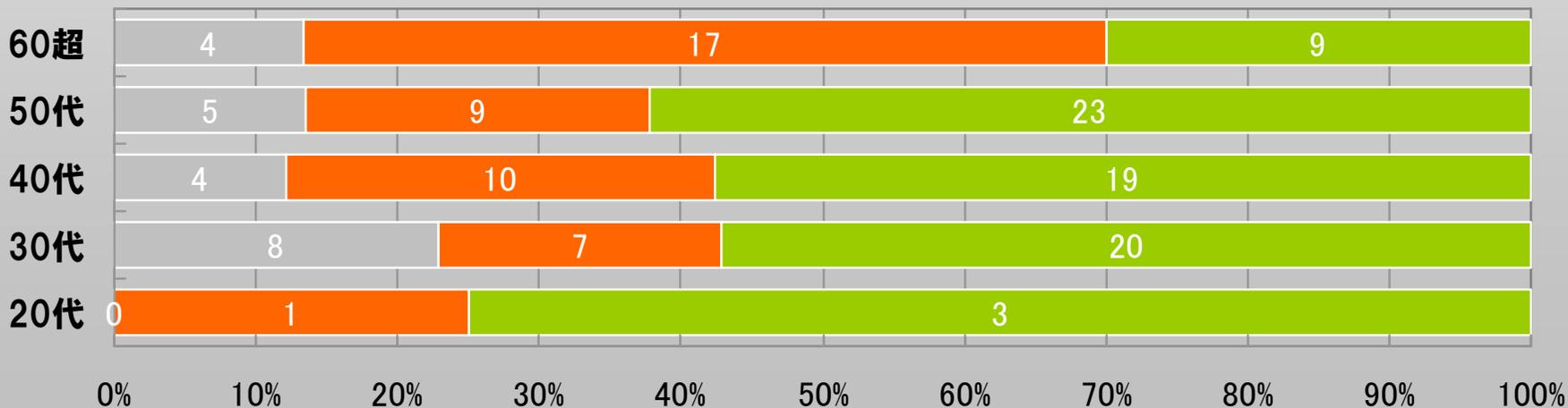
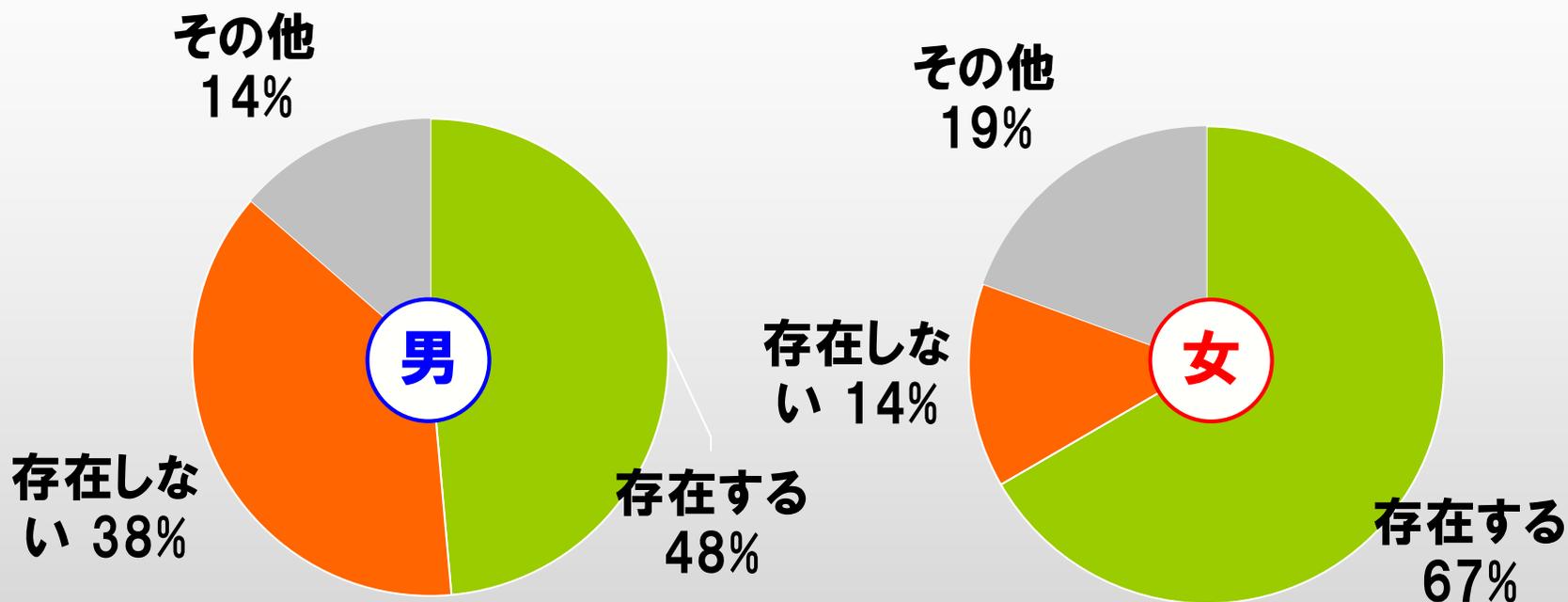


Q2.1 哲学教育において、ジェンダー・バイアス※が存在すると思いますか



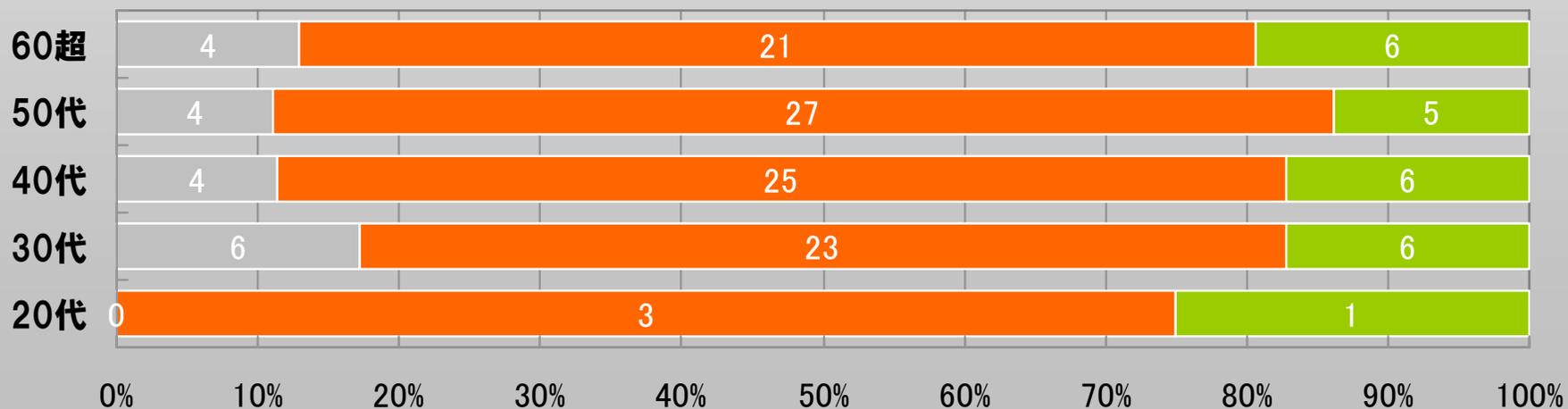
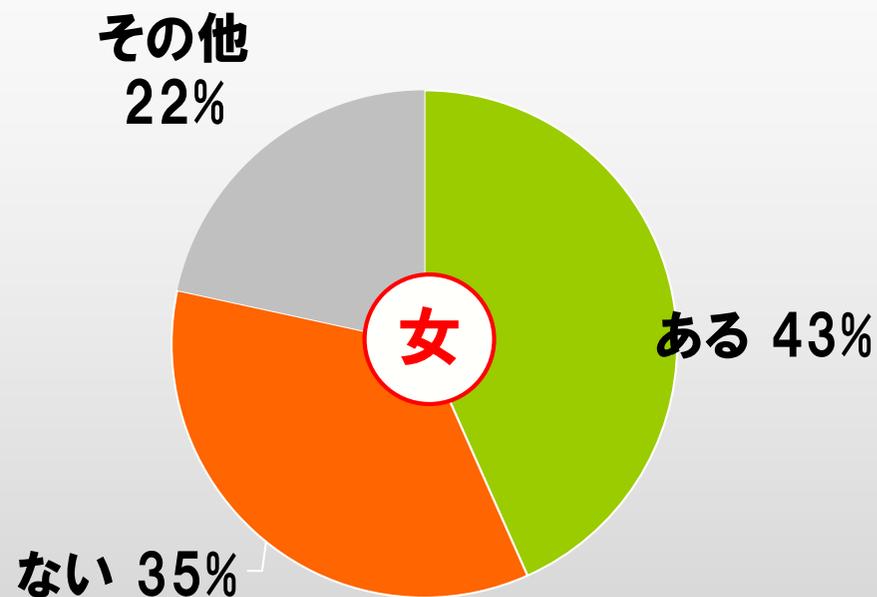
※性別・性差に由来する固定観念や偏見

Q2.2 研究テーマの選択や研究指導の現場において、ジェンダー・バイアス※が存在すると思いますか

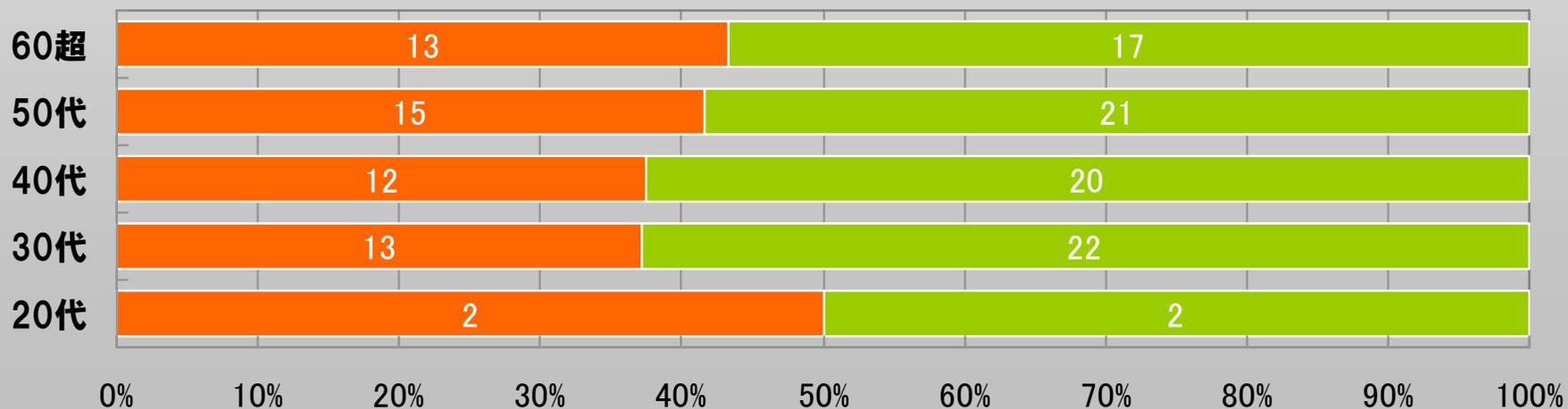
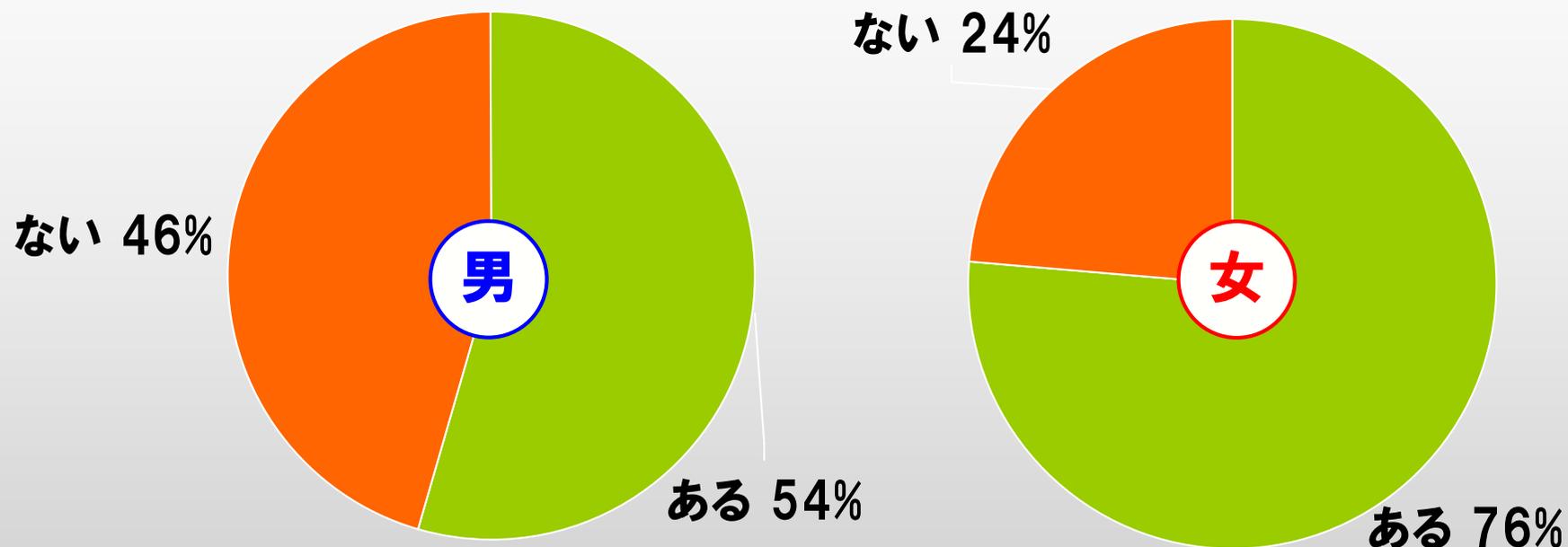


※性別・性差に由来する固定観念や偏見

Q2.3 研究活動を遂行する中で、ジェンダー・バイアスに起因する不当な威圧や評価を受けた経験はありますか

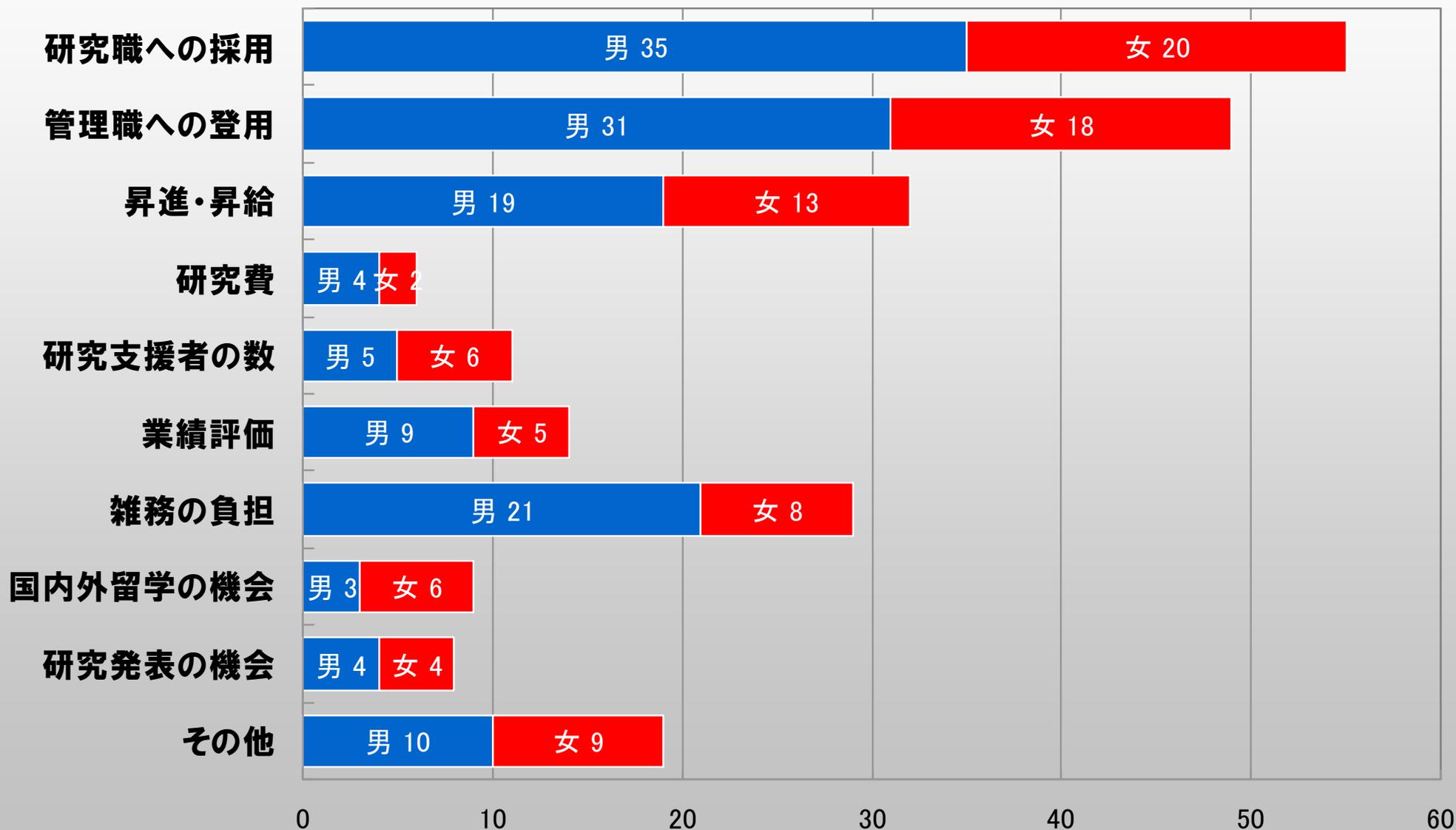


Q2.4 研究機関において 男女の処遇の差があると思いますか



Q 研究機関において男女の処遇の差があると思いますか

2.4 「ある」の場合、どの面で (複数選択可)



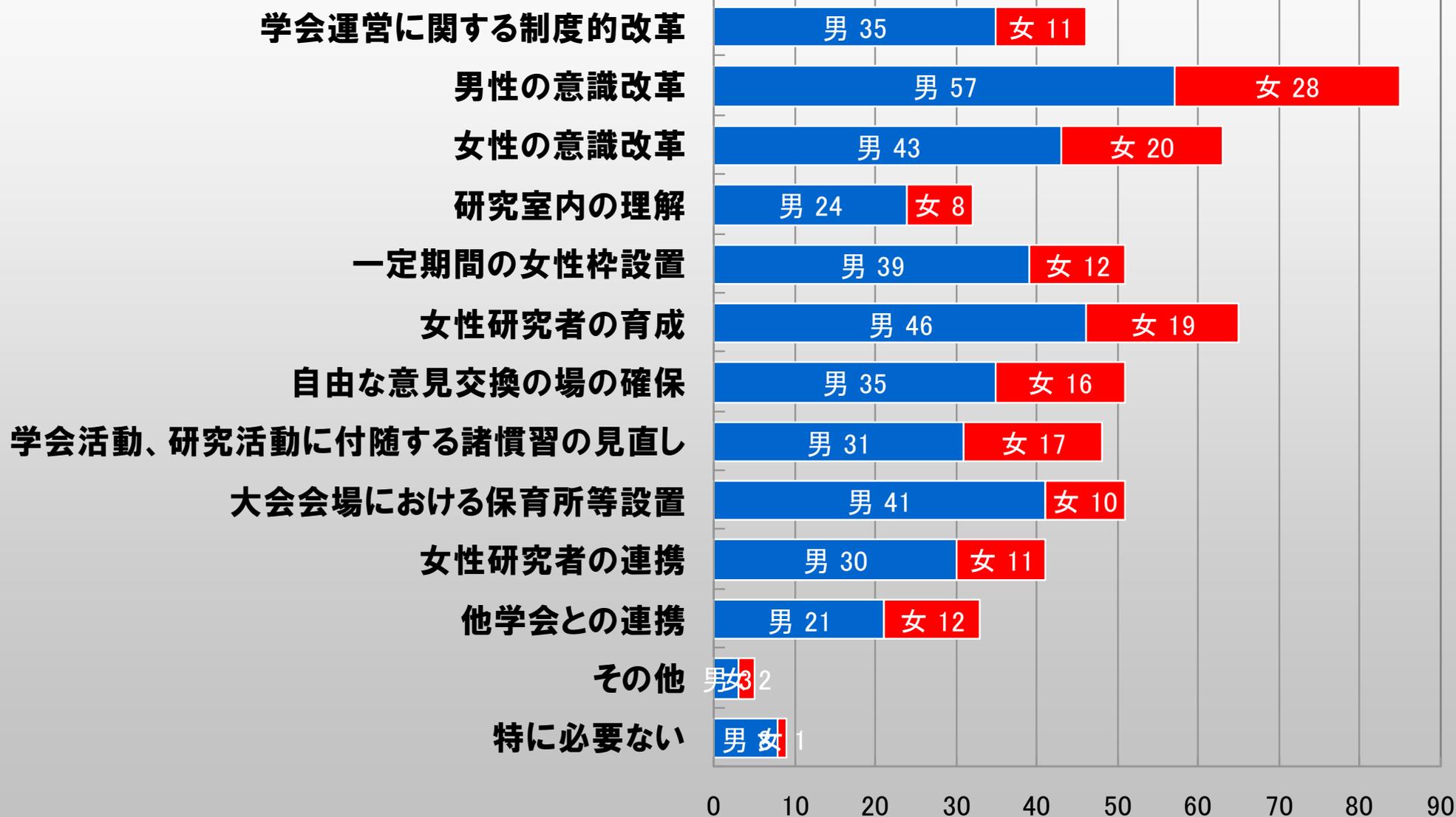
Q 研究機関において男女の処遇の差があると思いますか

2.4 「ある」の場合、どの面で (複数選択可)



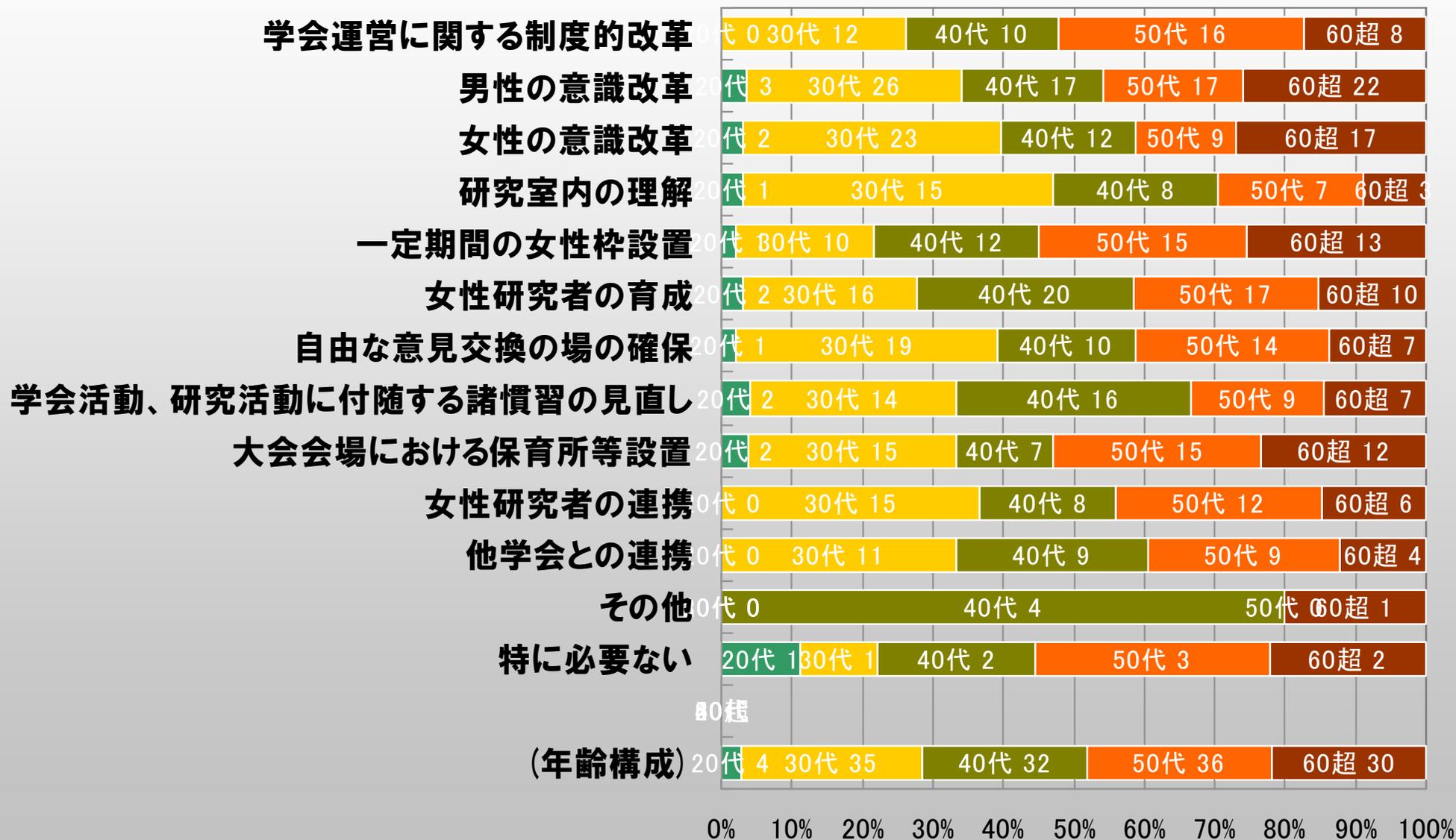
Q₃

日本哲学会における男女共同参画推進のため 今後必要と思われること（複数選択可）



Q₃

日本哲学会における男女共同参画推進のため 今後必要と思われること（複数選択可）



CogniTom Academic Design